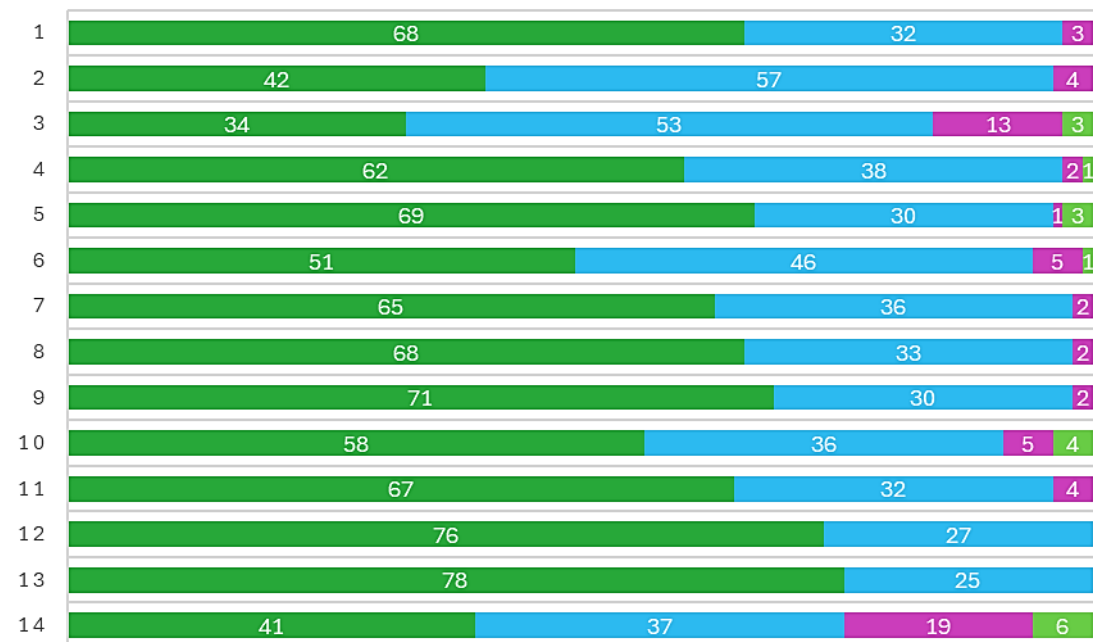


# 令和7年度 西条市立河北中学校 学校評価

## 【生徒】 令和7年度12月実施（回答率 87.2%）

1. 学習をとおして、分かったことや、できるようになったことが増えていると思いますか。
2. 授業は、あなたにとって分かりやすいですか。
3. 家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。
4. ICT 機器を活用し、グループ活動や学び合いを取り入れた学習ができていると思いますか。
5. 時間や学校の規則を守れていると思いますか。
6. 気持ちの良い授業ができていると思いますか。
7. 仲間と協力して、意欲的に取り組むことができる体験活動や学校行事が行われていると思いますか。
8. 道徳の時間は、資料などを使い、工夫された授業が行われていると思いますか。
9. 道徳の時間や学級活動の時間では、人権の大切さについて計画的に授業が行われていると思いますか。
10. 部活動（クラブ活動）は、あなたにとって充実し、休養もとれていると思いますか。
11. いじめのない仲間づくりに先生たちが取り組んでいると思いますか。
12. 学校行事が安全に配慮しながら、充実したものになっていると思いますか。
13. 「学校がより」や「学校ホームページ」等で、適切に学校が情報を発信していると思いますか。
14. 相談事や悩みなど、先生に気軽に相談できていますか。



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない

## 考察と今後の取組

### ○ 学習面について

家庭学習の習慣が身に付いているかの問いには、否定的な回答がどの学年にも見られます。「家庭学習をする生徒、しない生徒」の二極化が考えられます。本校独自の取組である「自主学習ノート」への取組をさらに充実させるとともに、学校と家庭との連携を図り、家庭学習の定着化に努めます。

### ○ 部活動について

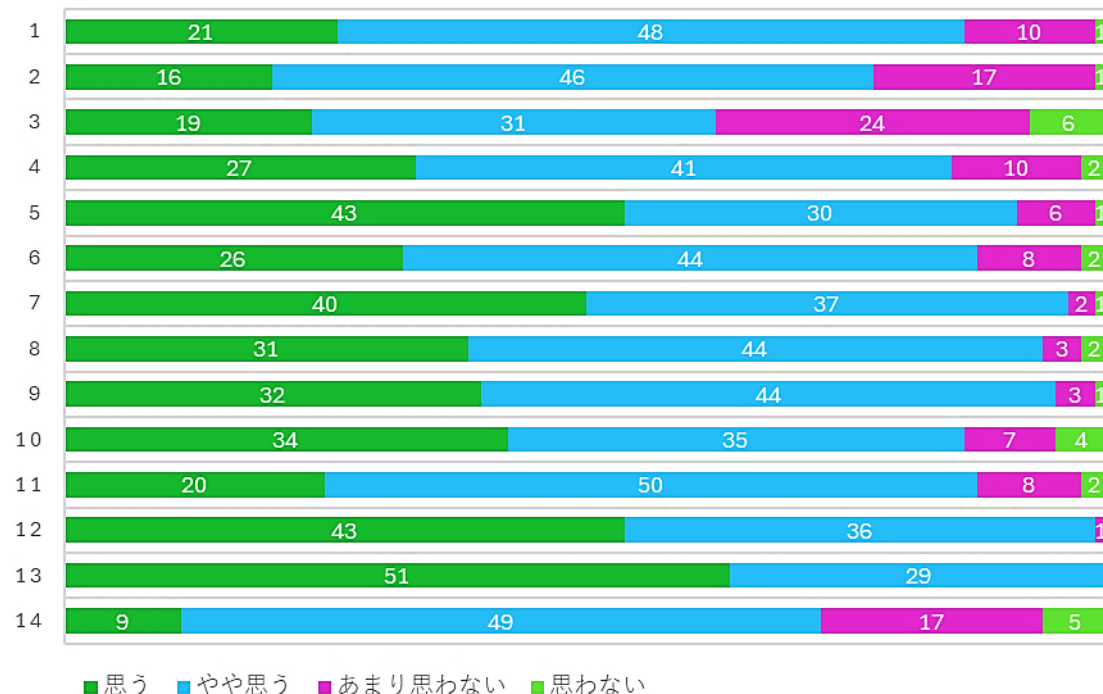
肯定的な意見が多くなっていますが、否定的な回答が1割程度見られました。地域クラブへの移行等で多様化する活動や生徒数の減少に伴い、部活動の存続や見通しが不透明な部分もありますが、生徒や地域の声に耳を傾け、合同チームや拠点校部活等での活動も視野に入れ、部活動の存続や充実にも努めます。また、熱中症への対策や適切な休養など、生徒の体調管理に十分留意します。

### ○ いじめや相談活動、安心安全な学校づくりについて

4分の1の生徒が先生に対して気軽に相談できないと感じている点を重く受け止め、相談しやすい人間関係の構築、相談活動の充実やスクールカウンセラーとの連携に努めます。また、日記指導や日々の学校生活において、わずかな生徒の変化を見逃すことなく、状況に応じた相談活動や丁寧な対応、家庭との適切な連携を心掛けます。

## 【保護者】 令和7年度12月実施（回答率 75.4%）

1. お子さまは、学習をとおして、分かったことや、できるようになったことが増えていると思いますか。
2. お子さまにとって分かりやすい授業が行われていると思いますか。
3. お子さまは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。
4. 学校では、ICT機器を活用し、グループ活動や学び合いを取り入れた学習ができていると思いますか。
5. お子さまは、時間や学校の規則を守れていると思いますか。
6. お子さまは、気持ちの良い挨拶ができていると思いますか。
7. 学校では、仲間と協力して、意欲的に取り組むことができる体験活動や学校行事が行われていると思いますか。
8. 道徳の時間は、資料などを使い、工夫された授業が行われていると思いますか。
9. 道徳の時間や学級活動の時間では、人権の大切さについて計画的に授業が行われていると思いますか。
10. 部活動（クラブ活動）は、お子さまにとって充実し、休養もとれていると思いますか。
11. 学校では、いじめのない仲間づくりに取り組んでいると思いますか。
12. 学校行事は、安全に配慮しながら、充実したものになっていると思いますか。
13. 「学校だより」や「学校ホームページ」等で、適切に学校が情報を発信していると思いますか。
14. 相談事や悩みなど、先生に気軽に相談できていますか。



## 考察と今後の取組

家庭学習の習慣が身に付いてないと感じる保護者の割合が多くなっています。「自主学習ノート」への取組をさらに充実させるとともに、家庭学習の習慣化に向けて、「家庭学習をする生徒、しない生徒」の二極化に対して学校と家庭が連携を図り、家庭での協力を得られる体制を構築することに重点を置いて取り組みます。また、生徒と同様に保護者も子どもが先生に気軽に相談できていないと感じています。生徒との人間関係の構築が必要であるのと同様に、保護者との連絡や連携を密にし、保護者とのより良い人間関係の構築に努めます。

## 【学校運営協議会委員より】

### いじめへの対策について

日々の様子や日記指導、毎月末の調査によって把握したものについては、聞き取りや指導など速やかに対応をしています。しかし、インターネットやSNSを介したものについては、学校での把握や対応が難しく、スマートフォンの正しい利用について、家庭での協力をお願いします。

### 不登校傾向のある生徒の居場所について

「きらめき」（サポートルーム）教室を設置し、教室に入ることが難しい生徒へ対応しています。教員や不登校等対策非常勤講師が学習等の支援を行っています。また、本人や保護者の申し出により、不登校傾向にある生徒に限らず1人1台端末を利用して、リモート学習による学習の場を確保する取組を行っています。他にも、西条市の教育支援教室「ひうち」や愛媛県の「メタサポキャンパス」等との連携を図っています。学級担任は、不登校傾向にある生徒や保護者に対して定期的な家庭訪問や電話連絡等により、関係を切らさないように対応しています。